

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名 堆肥センター運営事業		課名	農業課	事業No.	161	
		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
	分野別計画			地域経済活性化プログラム		
				飯田市農業振興ビジョン		
	法令・例規等					
事業目的	対象	家畜排せつ物、食物残さ（生ごみ）、きのご廃培地				
	意図	リサイクルによる堆肥の生産と地域内への供給				

2 事業内容

3年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	(有)いいだ有機に堆肥センターの管理運営業務を委託して、生ごみ・家畜排せつ物・きのご廃培地を原料にした堆肥の製造・販売を行いました。また、ユニー・JAみなみ信州と連携したリサイクルループ事業に取り組み、JAねぎ部会へ約224トン販売しました。 施設管理においては、長期運営計画に基づいて(有)いいだ有機が堆肥製造に必要な機械等の修繕を行いました。		借地料				135				
			保険料				23				
			その他の経費				0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	公共施設等生ごみ搬入量	t	600	596							
	堆肥生産量	t	1,900	1,645							
	堆肥販売量	t	900	674							
3年度決算(千円)	予算額	160	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	158									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	158										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	1	4	25	4	160	158	堆肥センター運営事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振返り課題認識	堆肥製造・販売においては、コロナ禍により生ごみ搬入量、おがご購入量が減少し、生産量・販売量とも減少したため、原料の確保に努めるとともに、販売先の確保に向けて(有)いいだ有機と協議・検討していく必要があります。
上記の課題解決のための有効策	安定した堆肥製造を行うために、引き続き、市と(有)いいだ有機との役割分担により堆肥センター施設等を適切に維持管理する必要があります。年間を通じて計画的な製造管理を行うとともに、おがご等の副資材の確保に努め、安定的な堆肥製造に取り組む必要があります。
次年度に向けての取り組み	引き続き、(有)いいだ有機に委託を行い、安定した良質な堆肥を製造できるよう、堆肥センターの管理運営を行います。取り扱い販売店等と連携して製品のPRを行い販売促進に努め、環境にやさしい堆肥の普及に努めます。